

8 精 監 査 第 7 号
令和 8 年 8 月 1 4 日

精華町長 杉浦 正省 様

精華町監査委員 井 上 直 樹

同 青 木 敏

令和 7 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 7 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

第 1 審査の期間

令和 8 年 6 月 1 9 日から 8 月 1 4 日まで

第 2 審査の手続

町長から提出された決算諸表が、事業内容を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿と関係証拠書類との照合やその他必要と認められる審査手続を実施した。また、地方公営企業法第 3 条における経済性が発揮されているか、町民の福祉の向上に寄与しているかについての把握を主眼として、関係職員から説明を聴取するなどにより審査を実施した。

第 3 審査の結果

- 1 審査に付された決算諸表は、前記により審査した限りにおいて、地方公営企業法その他関係法令に従って作成され、その計数は正確であり、財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認める。
- 2 予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行は、地方公営企業法の経営の基本原則の趣旨に沿って適正に処理されているものと認める。

第4 補足意見

1 指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況について

指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況を概観する。

病床利用率は、平成23年度に医療法人医仁会が指定管理者に再指定されて以降、95%前後で推移していた。再々指定された令和3年度は87.6%、前年度は93.2%であったが、当年度の病床利用率は92.2%になっている。患者数は、入院が16,824人（前年度17,003人）と前年度より179人減少し、外来は36,251人（前年度38,820人）と前年度より2,569人減少している。参考までに、指定管理者に指定された平成18年度、再指定された平成23年度、再々指定された令和3年度及び当年度の患者数は以下のとおりである。

（単位：人）

	令和7年度	令和3年度	平成23年度	平成18年度
入院患者数	16,824	15,996	17,283	8,297
外来患者数	36,251	46,226	27,952	25,815
合計	53,075	62,222	45,235	34,112

当年度末現在の職員数をみると、医師は7名（前年度8名）であり、看護師18名（前年度20名）も含めた職員数は64名（前年度末70名）となっている。また、非常勤職員数について、医師22名（前年度末18名）、看護師22名（前年度末21名）など、合計62名（前年度末59名）であり、当年度末現在の職員数は減少している。

2 計画的な固定資産の改修等について

精華町国民健康保険病院の運営は指定管理者制度を採用しているため、町が公有財産である病院の建物等の改良・改修を行う必要がある。当年度において、減価償却の対象となる有形固定資産の取得価額は1,260,224千円、取得時からの減価償却費の累計額は818,137千円である。減価償却の対象となる有形固定資産の取得価額のうち当該固定資産の減価償却累計額が占める割合であり、資産の老朽化度合いを表す当年度の有形固定資産減価償却率は64.9%である。当年度に病院の空調設備等更新工事などを実施したため、近年、増加していたこの指標値は、前年度より0.8ポイント減少している。しかし、償却資産の老朽化が進んでいるため、「精華町国民健康保険病院長寿命化計画」に基づき、改良・改修を計画的に実施する必要がある。

第5 決算の概要

1 予算執行状況について

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
病院事業収益	31,961	30,638	△ 1,323	95.9
医業外収益	31,961	30,638	△ 1,323	95.9

収益的収入の決算額は、30,638千円で、予算額31,961千円に対し、1,323千円の減、収入率は95.9%となっている。予算額に対する医業外収益の減は、一般会計負担金の減等によるものである。

イ 収益的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
病院事業費用	44,253	43,031	0	1,222	97.2
医業費用	43,623	42,600	0	1,023	97.7
医業外費用	630	432	0	198	68.5
特別損失	0	0	0	0	—

収益的支出の決算額は、43,031千円で、予算額44,253千円に対し、1,222千円の減、執行率は97.2%となっている。予算額に対する医業費用の減は、委託料の減等によるもので、医業外費用の減は、その他雑支出が発生しなかったことなどによるものである。

ウ 収支の状況

収入決算額 30,638千円

支出決算額 43,031千円

であり、収支差引12,393千円の赤字となっている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
資本的収入	185,000	160,696	△ 24,304	86.9
企業債	80,000	60,600	△ 19,400	75.8
他会計負担金	5,000	96	△ 4,904	1.9
貸付金償還金	100,000	100,000	0	100.0

資本的収入の決算額は、160,696千円で、予算額185,000千円に対し、24,304千円の減、収入率は86.9%となっている。

企業債は、建設改良費に係る企業債で、決算額は60,600千円となっている。

貸付金償還金は、町の貸付けに対する指定管理者からの償還金である。

イ 資本的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	185,000	160,696	0	24,304	86.9
建設改良費	85,000	60,696	0	24,304	71.4
貸付金	100,000	100,000	0	0	100.0

資本的支出の決算額は、160,696千円で、予算額185,000千円に対し、24,304千円の減、執行率は86.9%となっている。

建設改良費の決算額は、60,696千円で、病院施設更新工事等に係る事業費である。

貸付金は、指定管理者に対する貸付金で、決算額は前年度と同額の100,000千円となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 160,696千円

支出決算額 160,696千円

であり、収支差引0円となっている。

2 経営成績等

(1) 損益の状況について

損益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	
			金 額	率
医業収支				
医業収益	0	0	0	—
医業費用	42,600	39,048	3,552	9.1
医業利益	△ 42,600	△ 39,048	△ 3,552	—
医業外収支				
医業外収益	30,638	29,397	1,240	4.2
医業外費用	432	73	359	491.5
医業外利益	30,206	29,324	882	3.0
経常利益	△ 12,394	△ 9,724	△ 2,670	—
特別損益	0	0	0	—
特別利益	0	0	0	—
特別損失	0	0	0	—
純利益	△ 12,394	△ 9,724	△ 2,670	—

医業損益は42,600千円の損失で、前年度と比較して損失が3,552千円増加している。医業外損益は30,206千円の利益で、前年度と比較して利益が882千円（3.0%）増加している。この結果、経常利益は、12,394千円の赤字となった。特別損益の計上がなかったことから、純損失は経常利益と同額の12,394千円で、前年度と比較して2,670千円増加している。

ア 収益

収益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	
			金 額	率
医 業 収 益	0	0	0	—
入院収益	0	0	0	—
外来収益	0	0	0	—
その他医業収益	0	0	0	—
医 業 外 収 益	30,638	29,397	1,240	4.2
受取利息及び配当金	925	307	618	201.0
国・府補助金	0	0	0	—
負担金交付金	10,411	9,925	486	4.9
長期前受金戻入	18,649	18,536	114	0.6
その他医業外収益	652	629	23	3.7
特別利益	0	0	0	—
過年度損益修正益	0	0	0	—
その他特別利益	0	0	0	—
合 計	30,638	29,397	1,240	4.2

医業収益は、利用料金制により指定管理者が診療費等を直接収入しているため発生していない。

医業外収益は、30,638千円で、前年度と比較して1,240千円（4.2%）増加している。これは、医業費用の増加により、一般会計負担金が486千円増加したことなどによるものである。

以上の結果、総収益は、30,638千円で、前年度の29,397千円と比較して1,240千円（4.2%）の増加となっている。

イ 費用

費用の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	
			金 額	率
医 業 費 用	42,600	39,048	3,552	9.1
給与費	9,792	9,407	385	4.1
経費	1,798	1,410	389	27.6
減価償却費	30,903	28,012	2,891	10.3
資産減耗費	106	219	△ 113	△ 51.4
研究研修費	0	0	0	皆減
医 業 外 費 用	432	73	359	491.5
支払利息及び 企業債取扱諸費	432	73	359	491.5
雑支出	0	0	0	—
特別損失	0	0	0	—
過年度損益修正損	0	0	0	—
その他特別損失	0	0	0	—
合 計	43,031	39,121	3,911	10.0

医業費用は、42,600千円で、前年度と比較して3,552千円（9.1%）増加している。これは、建物減価償却費の増加により、減価償却費が2,891千円増加したことなどによるものである。

医業外費用は、432千円で、前年度と比較して359千円（491.5%）増加している。

以上の結果、総費用は、43,031千円で、前年度の39,121千円と比較して3,911千円（10.0%）の増加となっている。

(2) 純利益額等の推移について

平成29年度以降の純利益（損失）額、入院・外来患者数、人件費と薬品費の各医業収益比等の推移及び医業収支と純利益（損失）額の推移については、それぞれ次表に示すとおりである。

◎ 純利益（損失）額推移表

（単位：千円）

年度 \ 区別	純利益（損失）額	利益剰余金	他会計からの繰入金
平成29 〃	△ 2,881	225,816	10,385
平成30 〃	△ 13,189	212,627	9,922
令和元 〃	△ 18,328	194,299	10,228
令和2 〃	△ 13,154	181,145	12,113
令和3 〃	△ 53,418	127,727	13,486
令和4 〃	△ 12,478	115,249	10,056
令和5 〃	△ 12,155	103,094	10,019
令和6 〃	△ 9,724	93,370	9,925
令和7 〃	△ 12,394	80,976	10,411

◎ 入院患者延数及び病床利用率推移表（参考）

年度 \ 区別	許可病床数	患者延数	1日平均患者数	病床利用率	備考
平成29 〃	50床（18,250床）	17,447人	47.8人	95.6%	指定管理者による運営
平成30 〃	50床（18,250床）	16,763人	45.9人	91.9%	
令和元 〃	50床（18,300床）	16,924人	46.2人	92.5%	
令和2 〃	50床（18,250床）	16,287人	44.6人	89.2%	
令和3 〃	50床（18,250床）	15,996人	43.8人	87.6%	
令和4 〃	50床（18,250床）	15,808人	43.3人	86.6%	
令和5 〃	50床（18,300床）	15,803人	43.2人	86.4%	
令和6 〃	50床（18,250床）	17,003人	46.6人	93.2%	
令和7 〃	50床（18,250床）	16,824人	46.1人	92.2%	

◎ 外来患者数推移表（参考）

（単位：人）

年度 \ 区別	患者総数	1日平均	内科	外科	整形外科	リハビリ	皮膚科	歯科	透析	泌尿器科	備考
平成29 〃	37,540	125	14,571	1,888	6,093	(3,354)	2,681	7,946	3,835	526	指定管理者による運営 ※リハビリの患者数は、整形外科における患者数の内数です。
平成30 〃	39,988	137	15,084	2,636	5,961	(3,352)	2,658	8,964	4,166	519	
令和元 〃	40,980	139	14,469	2,766	6,694	(3,716)	2,664	9,483	4,384	520	
令和2 〃	41,653	142	14,283	2,849	7,365	(4,064)	2,899	8,895	4,807	555	
令和3 〃	46,226	157	17,014	3,414	7,823	(3,945)	3,202	9,123	5,058	592	
令和4 〃	42,467	144	16,158	2,208	6,635	(3,415)	2,720	8,632	5,562	552	
令和5 〃	39,432	134	14,590	1,473	5,264	(2,059)	2,632	9,034	5,471	968	
令和6 〃	38,820	133	13,339	1,482	5,908	(2,516)	2,507	9,181	5,269	1,134	
令和7 〃	36,251	124	12,250	1,099	5,982	(2,505)	2,310	8,513	5,315	782	

◎ 人件費、薬品費の対医業収益比（参考）

年度 \ 区別	医業収益 (千円)	人件費		薬品費		人件費・薬品費計		備考
		金 額(千円)	比率・%	金 額(千円)	比率・%	金 額(千円)	比率・%	
平成29 〃	827,954	614,084	74.2	58,156	7.0	672,240	81.2	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値とし、比率は、これら合算した金額に基づき算出した数値としています。)
平成30 〃	838,887	627,690	74.8	55,631	6.6	683,321	81.5	
令和元 〃	849,532	631,449	74.3	59,200	7.0	690,648	81.3	
令和2 〃	847,510	600,625	70.9	56,469	6.7	657,093	77.5	
令和3 〃	866,055	630,671	72.8	59,355	6.9	690,025	79.7	
令和4 〃	893,137	618,101	69.2	67,081	7.5	685,182	76.7	
令和5 〃	843,037	615,007	73.0	65,643	7.8	680,650	80.7	
令和6 〃	870,496	637,827	73.3	73,519	8.4	711,346	81.7	
令和7 〃	854,572	621,550	72.7	75,445	8.8	696,995	81.6	

◎ 医業収支と純利益（損失）額推移表（参考）

（単位：千円）

年度 \ 区別	医業収益	医業費用	差引医業利益(損失)	純利益(損失)	備考
平成29 〃	827,954	871,912	△ 43,958	△ 4,007	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値としています。)
平成30 〃	838,887	879,587	△ 40,700	△ 31,077	
令和元 〃	849,532	907,866	△ 58,335	△ 45,314	
令和2 〃	847,510	868,032	△ 20,523	△ 5,160	
令和3 〃	866,055	918,199	△ 52,144	△ 66,986	
令和4 〃	893,137	927,843	△ 34,706	△ 9,261	
令和5 〃	843,037	916,619	△ 73,583	△ 37,535	
令和6 〃	870,496	955,310	△ 84,814	△ 49,082	
令和7 〃	854,572	951,943	△ 97,371	△ 46,572	